

平成28年度第 全国学力・学習状況調査における

本校の結果分析と今後の学習指導の取組について

新宿区立淀橋第四小学校

1 全国学力・学習状況調査について

全国の小学6年生と中学3年生を対象として、学力・学習状況調査が行われました。その結果を受けて、本校児童の結果のまとめと、今後の取組をお知らせします。

2 封筒の内容

・本紙 ・個人票 ・問題用紙

3 結果の分析と今後の取組 (△課題、→改善のための本校の取組、◎その他)

実施教科	A 問題 (主として知識に関する問題)	B 問題 (主として活用に関する問題)
国語	<p>○漢字の読み書きに関しては、しっかりと身につけてきています。4年生から日々の宿題で漢字ノートの反復練習が生かされています。今後も継続していきます。</p> <p>○読む能力を問う問題では、8割の児童がほぼ全問正解することができました。正しい内容と誤った内容の取捨選択ができています。</p> <p>△ひらがなをローマ字に直す問題では、正答率が6割でした。濁音や促音に直すのが苦手なようです。 →宿題でローマ字の学習を取り入れ、中学校に向けての基礎・基本を作っていきます。</p>	<p>○A 問題と同様に、正しい内容を選択する問題の正答率は高く、8割の児童が正答することができました。</p> <p>△文章をまとめることが苦手なようです。簡潔に要点のみを時数内にまとめることが課題です。 →文章をただ埋めるだけでなく、事柄を、事実と感想、意見などと区別する活動を取り入れます。また、目的や意図に応じて伝えたい内容を詳しく書いたり、内容を簡単にまとめて書いたりする活動も取り入れます。</p>
算数	<p>○基本的な四則計算や不等号の問題などは9割の児童が正答できていました。今後も基礎をベースにして継続していきます。</p> <p>△「図形」の直方体の問題で、平行についてはよく理解していますが、垂直についての理解度がやや弱いようです。 →具体物を用いてどの面がどの面に垂直なのかを考えさせていきます。また東京ベーシックドリルを活用して基礎基本を固めていきます。</p> <p>△割合を用いた文章問題を苦手とする児童が多いようです。 →テープ図など図にして表し、何を求められているのかを明確にし、比べられる数・もとにする数・割合のどれに当たるのかを考えさせていきます。</p>	<p>△折れ線グラフの読み取りに課題があります。 →変化の様子を表すグラフは日常でも活用しますので、総合や理科などでも今後活用し縦軸と横軸のめもりが何を表しているのかを再度確認させ読み取る力を育てていきます。</p> <p>△多角形の内角の和についての多様な見方を求められる問題においては約半数の児童が正答できませんでした。知識を一般化することに課題があります。 →授業で学んだことを児童自身の言葉でまとめさせるなどして、考える力を高める指導を目指します。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">生活習慣や学校環境に関する質問紙調査</p>	<p>△自己肯定感が低いという現状が明らかになりました。「友達の話や意見を最後まで聞くことができる」「友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができる」という項目についても自信がもつことができているようです。</p> <p>→校内研究との相乗効果をねらい、かかわる活動を通して意図的に力をつけていくことを目指します。</p> <p>また、力がついたことを実感できるような価値づけをしていきます。</p> <p>△言語表現を苦手と感じている児童が多いようです。</p> <p>→話の組み立てを考えて話したり、文章を書いたりする言語活動を多く取り入れていきます。</p> <p>◎「総合的な学習の時間」が生活や社会に役立つと感じている児童が全国平均と比べ倍近く多いことから、自分の生活に返る活動になっていることがわかりました。本学年の強みとして、引き続き、児童自身の生活を向上させ、生きる力の育成につながるような指導の工夫を行っていきます。</p>
---	--

4 結果の返却とご家庭での活用について

個人票とあわせて、問題用紙を返却しました。ぜひ、総合的点数だけでなく、教科別、単元別に問題と結果を照合してご覧ください。児童自身で課題を見つけ、自主的な学習につなげたいものです。

まず、特に正答率が低い単元があれば、その単元について学習した際の教科書やノート等を使って復習を行います。余裕があれば、正答率の高かった単元については、発展的な課題に取り組むのもよいでしょう。

本校全体の児童の課題の一つとして、定着のための反復学習にとる時間の少なさが挙げられます。今回の学力調査の結果を基に、継続した家庭学習につなげていただければ幸いです。